

「保育」の原点

公民権運動家たち

マ
ーティン・ルーサー・キング・
ジュニア（キング牧師）の言葉

「飛ぶことができないのなら走ればいい。走ることができないなら歩けばいい。そして歩けないなら這えばいい。けれど前進することをやめてはいけません」というのがあります。

私が一番好きな言葉です。

1968年4月4日遊説活動中のネシー州メンフィスで暗殺されたキング牧師の没後30年の集会在ジョージア州アトランタで開催されたのですが、私の友人ケリー・ケネディ氏とともに



写真右から、デズモンド・ムピロ・ツツ大主教の奥様、友人のマニー・メナンデス氏、デズモンド・ムピロ・ツツ大主教、そして筆者。

参加させていただきました。

会場内は黒人の方たちばかりで、全体に甘い香りに包まれていました。キング牧師の家族の方、友人たちのスピーチはスラングも入り、特別なイントネーションもあり、ブルースを聞いているようでもありました。

最後はゴスペルで終わり、感動的な1日でありました。

次の週、ニューヨークで南アフリカのマーティン・ルーサー・キングと呼ばれているデズモンド・ムピロ・ツツ大主教とお目にかかりました。

南アフリカの平和運動家であり、アパルトヘイト撤廃運動での活躍で知られ1984年にノーベル平和賞を受賞された伝説の人物です。

しかし、今はこのようなカリスマ性を備えた公民権運動家たちはいません。

文
葛西得男

text by Tokuo Kessai

今、必要なのは世界が熱狂する様な若い黒人のリーダーなのでしよう。若く実行力のあるリーダー、そんなリーダーを世界は待っていると感じるので

Profile

1950年12月8日大阪に生まれる。
1972年、追手門学院大学卒業後、米国ボストンカレッジに留学。
1975年に帰国後、アップリカ葛西に入社。営業部、副社長、社長を経て、1996年に社会福祉法人 松稲会 理事長に就任。
松稲会は社会福祉法人として高齢者介護施設「アップリケア」と認可保育園マザーシップ保育園を運営している。
アップリカ葛西 副社長時代に国連 UNEP 環境計画のスペシャルアドバイザーとして子供たちのために地球環境問題を考えるプロジェクトに参画し、世界の賛同者と世界会議、イベント普及活動などを行いながらその人脈などを広げ現在に至る。

